

小5から続けてきた野球の指導者を目指す

私を母は快く応援してくれました。奨学金があったからこそ、専門学校の受験料などを支払うことが出来ました。

大好きな野球を仕事に 小樽市 阿彦 隼斗



私の祖母が小樽母子会の会員だったこともあり、幼い頃から母と弟と一緒に行事に参加し、動物園や遊園地などに行っていたことを今でも覚えています。

現在は、北海道スポーツ専門学校でパーソナルトレーナーを専攻しています。来春卒業後は、子どもの野球スクール指導員の仕

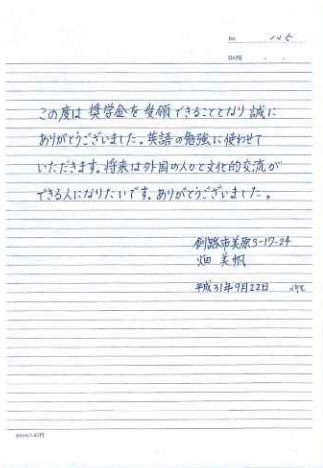


祖母や母や弟と参加したなつかしい母子会の旅行

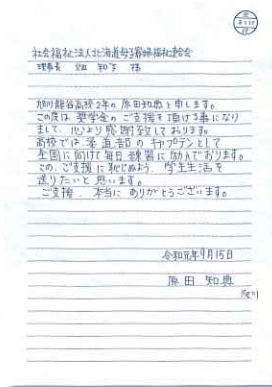
事に内定しています。小学校5年生から少年野球チームに所属し、現在まで続けてきた野球に年間通じて携わっていきたいと思い、雪の降らない大阪で就職します。

春からは母や祖母と離れ、ひとり暮らしになりますが、仕事で出会う子どもたちの中に、私と同じひとり親の子がいたら、自分の好きな道を歩んでいけるよう背中を押してあげられる指導者になりたいと思います。

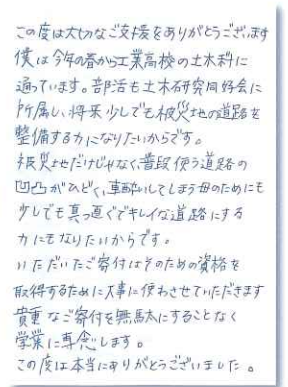
今、私が自分の好きなことを仕事に出来るチャンスを与えて下さった奨学金をご支援いただいた皆様への感謝を忘れずに、恩返しができるよう社会人として励んでいきます。



釧路市 畑美帆さん

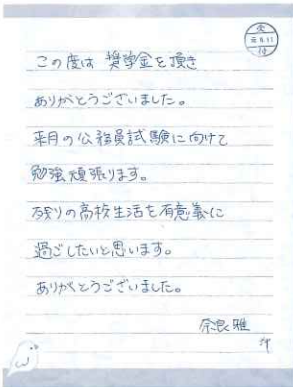


旭川市 原田知典さん

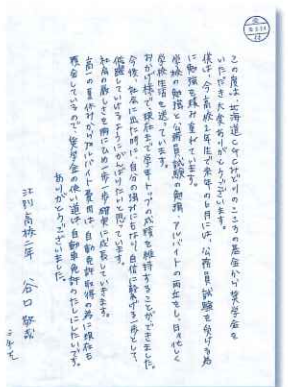


当別町 砂沢海飛さん

令和元年度も
道新振興基金さん、北洋銀行さん、
みどりところの基金さん
から助成をいただき、
337名に奨学金が給付されました。



北見市 奈良雅さん



江別市 谷口敬哉さん